

2018年9月6日 第2341回例会  
9月第1例会

RIテーマ ROTARY: MAKING A DIFFERENCE  
「インスピレーションになろう」

本年度会長テーマ  
「奉仕の理想に向かって、楽しむロータリーに」

## 「基本的教育と識字率向上月間」「ロータリーの友月間」

### ◆ 会長時間 ◆

森脇会長



今月は、「基本的教育と識字率向上月間」です。

4年前2014年のノーベル平和賞を、史上最年少で受賞したマララ・ユスフザイさんを記憶されている方は少なくない

と思います。

マララさんは当時17歳の少女です。彼女は、15歳のとき（2012年）下校中のスクールバスの中でタリバンに頭を撃たれました。タリバンは、女子は学校に行くことを禁止し、守らなければ学校を破壊しています。マララの父親は女学校を経営しており、マララは標的にされたのです。マララは瀕死の重傷を負ったにもかかわらず奇跡的な回復をし、9か月後ニューヨーク国連本部で世界に向かって、教育の大切さを訴える演説をしました。その演説は世界に衝撃をあたえました。「一人の子ども、一人の教師、一冊の本、そして一本のペンが、世界をかえられるのです。教育以外に解決策はありません。教育こそ最優先です」と、演説を結びました。

現在イギリスのオックスフォード大学で学業に励んでいます。祖国のために将来首相になりたいとも言っていましたが、いまはその道の厳しい現状に苦悩しているようです。

パキスタンでは十分な基本的教育がされていません。当然識字率も低い。それが紛争の原因のひ

とつでもあります。世界の一部の国ではこういったことが現実なのです。日本では信じられない現実があるのには驚かされます。「平和な社会」に近づくには「基本的教育と識字率の向上」は、平和への第一歩です。

☒ **新会員に会員証、ロータリーバッジ、四つのテスト及びロータリアンの行動規範、吉原ガバナリーからの入会記念バナーを贈呈**



上野彰彦君

### ● 会務報告 小橋幹事

※他クラブ例会臨時変更

9月14日(金) 広島南RC 夜間例会

9月19日(水) 広島東RC 休会

9月25日(火) 広島RC 休会

9月27日(木) 広島北RC 休会、

広島安佐RC 職場訪問例会

※例会終了後、4階「アマリス」において9月定例理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。

## ● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

### 出席報告 豊岡君

本日(9月6日・木曜日)

会員数 85名 出席者 71名

欠席者 14名 ご来客 1名

ご来賓 0名 ゲスト 2名

計 74名

前々回(8月23日・木曜日)

出席率 100%



## ● 同好会報告

回 囲碁同好会 田中世話人

8月18日に実施した副会長杯取切戦囲碁大会の結果について報告いたします。8月23日はガバナー公式訪問の為発表できず、8月30日は私の責任で発表することを忘れており、囲碁同好会から発表する前に副会長賞の授与がありました。よってスマンボックスに寄付させていただきます。

結果報告ですが、当日は参加者が少なくOBの北村さん、尾形君、小田君、田中の4人でしたので全員総当たりのリーグ戦を2回行いました。

北村さんが3勝1敗、田中が3勝2敗、尾形君と小田君が1勝2敗、ということで現役の私が副会長賞をゲットしました。しかし私田中の優勝はゴルフのハンディキャップで例えば、ハンディ100位をいただいたお蔭であることはいうまでもありません。

## ● 会員記念日

祝 9月お誕生日おめでとうございます。

(5名)

田島君 田原君 香川(基)君

吉田(浩)君 熊本君



## ● 卓話予告

日時	テーマ
9/20(木)	新会員卓話 「これからの農業について」 大谷 博昭 君 「主婦からの転身」 川妻 利絵 君

## ■ 新会員紹介

うえの あきひこ  
○ 上野 彰彦 会員

推薦者 大本和則君

推薦同意者 村上智亮君

生年月日 昭和45年7月11日

勤務先 株式会社SUNS

役職名 代表取締役

学歴 ユタ州立大学

この度、歴史と伝統ある広島西ロータリークラブに入会させていただくことになりました上野彰彦と申します。入会に際しましては、推薦者の大本和則様、推薦同意者の村上智亮様、さらには会員の皆様方からのご承認をいただきましたことを心から厚くお礼申し上げます。

私は広島市で生まれ、広島県立観音高校卒業後、アメリカに5年間留学し、帰国後、家業である美容室を継ぎ現在に至っております。弊社は昭和45年に創業し、美容室を主業とし、エステ、ネイルなど美容全般に関わる会社でございます。

家族は私、妻、3人の子供たちとともに佐伯区皆賀に居住しております。

ロータリークラブに入会させていただくにあたり、まずはロータリーの精神を学び、理解し、実践できるよう精一杯努力していく所存でございます。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



● スマイルボックス SAA 吉井君

👤 山縣君(自主申告)

インドネシア・ジャカルタで開催された第18回アジア大会において息子亮太は100mで「10秒00」の自己新記録で銅メダル、4×100mリレーでは「38秒16」で20年ぶりの金メダルを

獲得することができました。

数字の記録として印象に残ったものを披露しますと、決勝の100mの正式タイムは「10秒00」ですが、判定上の記録は「9秒997」であり、これまでの自己記録「10秒000」を千分の3秒ほど更新していました。実際には9秒台の世界へ亮太も入ったことになり、これがまず1点。

次にリレーが行われた日の番組平均視聴率が18.1%そして、リレー中継時の瞬間最高視聴率はなんと25%を超え、皆様の期待と感心が非常に高かったことがうかがえました。

日本選手団主将として金メダル75個を含む205個のメダル獲得という、これまでのトップクラスの好成績で大会を終えることができたのも皆様の熱い応援のおかげに他なりません。心より感謝とお礼を申し上げます。これからもよろしくお願い申し上げます。

#### 🗣️ 上野(彰)君

本日入会されました上野(彰)君、入会おめでとうございます。推薦者の大本君、推薦同意者の村上(智)君も、ご一緒に出宝お願いします。

#### 🗣️ 北村君、田中君、小橋君

昨年度の各同好会、栄えある取切戦優勝者の皆様、誠におめでとうございます。今後もますますロータリー活動とともに、各ご趣味の道を極められますことをご祈念申し上げ、〈紫友会〉北村君、〈囲碁同好会〉田中君、〈紫雀会〉小橋君、スマイルボックスにご招待いたします。

#### 🗣️ 香川(基)君

- ① 経済レポート9月4日号によりますと、福屋さんでは、八丁堀南館を次世代のランドマーク「フクヤアディクト」にリニューアルし、今年20日にオープンされるそうです。

アディクトという名前には、「夢中・大ファンになっていただく」という意味が込められ、「次の上品さ、贅沢さ～英語でポストリユクス」をコンセプトに、当クラブ会員の皆さんにもこれまでにない驚きと新鮮さを届けていただけるそうです。

これからも、広島住民のライフスタイルに彩りを与え続けてくださるよう、香川(基)君と福屋さんの一層の発展を祈念いたします。

- ② つづいて同じ福屋さんの関係でご紹介いたします。皆さんも大変お世話になっている事務局楠原さんの素晴らしい御趣味は御周知のとおり仏像彫刻です。

楠原さんからはくれぐれもスマイルでの案内は遠慮しますと言われたのですが、彼女自慢の作品が福屋広島駅前店6階にて本日6日から12日まで大塚行雲こううん仏像彫刻作品展で展示されています。

ということでクラブ会員を代表し、楠原さんに日頃大変お世話になっている、森脇会長はじめ、斉藤副会長、小橋幹事、香川(浩)、井下両幹事、ご出宝お願い申し上げます。

## ■ 卓 話



### 「インバウンド接客の革命 ～新しい考え方～」

#### 諏訪 昭浩君

今日お話しするのは、外国人観光客、通称、インバウンドを、飲食店でどう接客するかという話です。というと、接客英語か、と思われるのですが、今からお話しする方法は、外国語が全くしゃべれない日本人でも簡単にできる方法です。

この話は、僕が認定講師をしている日本パーソナルブランド協会が主催する、昨年5月に開催された第14回セミナーコンテスト広島大会で初めてご披露して優勝。その後、全国から選抜された7名が競うグランプリ大会で第3位をいただいたのをきっかけにお伝えする機会が増え、来年には出版が決まっています。

2008年のリーマンショック以来大きく落ち込んだ個人消費の影響で「冬の時代」と言われる飲食業界にとって、毎年過去最高を更新し2017年には2869万人に達したインバウンド集客は大きな売上げ増加のチャンスですが、外国語の接客は思いのほかハードルが高く、なかなか積極的になれないのが現状です。

そこで、11年間のアメリカ生活、飲食業経営の経験などをもとに考案したのが、この外国語をしゃべらなくてもできる接客方法です。

この方法を考案した背景は、まず、インバウンドの消費がモノ消費からコト消費へ変化し、プラスアルファの感動体験を求めるようになったことがあげられます。下手な外国語で接客するのではなく日本語で接客するほうが異国情緒が味わえ、より感動を与えることができます。しかし、日本語で接客するとお客さんは理解できなくて困ります。そこで、日本語がわからなくても困らない仕組みを取り入れているのが僕の提唱する方法の特徴です。

もう一つの背景は、もともと外国語ができない人に勉強して外国語接客をするように要求しても、とても無理があるということです。

さて、詳しいノウハウを全てお伝えすると本が売れなくなりますから、ここでは省きますが、この接客方法の基本は日本語で接客することです。対象は飲食業の方々ですが、実はこれこそが、普通の日本人が外国人と接する時に最適な方法だと僕は確信しています。

英会話は「会話」ですから、しゃべることと、聞くことの2つが必要です。両方ないと成り立ちません。日本人はとにかく英語をしゃべりたい方が多く、そのせいで、様々な英語教材が、簡単にしゃべれるようになることを殺し文句にしています。

しゃべるのは簡単です。なぜなら、覚えた言葉を口に出せばいいだけだからです。しかし、聞けるようになるには相当の時間と努力が必要で、それは僕の経験上からも、普通の日本人が日本にい

て日常をおくりながら習得できるレベルではないのです。非常に難しいのです。従って、しゃべっても聞けないのが通常であり、ということは、ほとんどの日本人に英会話は無理だということなのです。

ビジネスの世界は別として、世界を旅するとわかることは、ほとんどの人間は外国人に対して自国の言葉で話しかけるということです。これが世界標準と言っていいでしょう。しかし日本では、とにかく英語で話したい人が多いのです。

これからは外国人に対して日本語で話しかけてみませんか？ それが英単語混じりの日本語になってもいいのです。僕は、このカタコト英語のマスターこそが、普通の日本人にとって英会話マスターの近道だと思っています。

道ばたで外国人に道を尋ねられて、外国語がわからなくて逃げたり手を横に振って「ダメダメ」したり。これでは日本の魅力は発信できないし、国際理解も深まりません。何度も言いますがビジネスは別です。それ以外の、普段あまり外国語に接することがない日本人の多くが、日本中で、堂々と、笑顔で、外国人に日本語で話しかけている、そんな社会になることを夢見て、これからも活動していきます。

ご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

例会日・木曜日 12:30~13:30  
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島  
会長 森脇 宗彦  
幹事 小橋 敏幸

広島西RC   
事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78  
リーガロイヤルホテル広島13F  
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870  
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp  
作成・会報雑誌・広報委員会